※令和４年度以降入学生用

学校番号	４０２

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	詳述歴史総合　（実教出版）						
副教材等	ダイアローグ歴史総合　（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

現代の様々な社会課題には、必ずその課題が生まれるに至った歴史がある。歴史総合では、この諸課題の形成に関わる歴史を学習していく。したがって扱う内容は、近現代を中心とした社会的事象となり、時には前近代の内容も交えながら、史・資料の読み取りや考察、議論を通して、「社会的事象の歴史的な見方・考え方」を身につける。この見方・考え方は、次年の世界史探究・日本史探究・地理探究でより発展的な課題探究を行う上の基礎となるものである。

また、日本の歴史と世界の歴史を分断することなく、その相互関連性に着目して学習を進めることも、歴史総合の大きなテーマの一つとなる。

２　学習の到達目標

・世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代の諸課題の形成に関わる歴史を理解するとともに、史・資料から様々な情報を読み取り適切かつ効果的に調べまとめる力をつける。

・歴史的事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して考察し、歴史にみられる課題の解決に向けて構想をするとともに、その考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

・近現代の歴史的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	○近現代史を中心とする世界の歴史についての基本的な知識を身に付け、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解している。 ○近現代史を中心とする世界の歴史についての史・資料を収集し，有用な情報を適切に選択し、まとめることができる。	○近現代史から諸課題を見いだし，歴史的視野に立って、社会を多面的・多角的に考察する。 ○その諸課題について，日本の歴史と関連付けながら，国際社会の変化を踏まえて多面的・多角的に判断し、表現できる。	○近現代史を中心とする世界の歴史に対する関心を高め，歴史上の諸課題について問題意識を持って意欲的に追究する。 ○国際社会の一員として現代の諸課題に主体的に関わろうとする態度を身に付ける。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	近代化への胎動	・ ヨーロッパの海外進出と市民社会 ・ 清の繁栄 ・ 東アジア諸国間の貿易 ・ 江戸時代の日本の対外政策 ・ 江戸時代の社会と生活	a：18 世紀ごろのアジア諸国と欧米諸国との貿易や国際関係，また両地域における社会・文化に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 b：18 世紀ごろのアジア諸国と欧米諸国との貿易や国際関係，また両地域における社会・文化に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現できている。 c：18 世紀ごろのアジア諸国と欧米諸国との貿易や国際関係，また両地域における社会・文化に関する問いに対して，自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。	・考査 ・小テスト	・考査 ・小テスト ・レポート ・発表	・ワークシート ・レポート ・感想 ・発表

※令和４年度以降入学生用

	欧米の市民革命と国民国家の形成	・ イギリス産業革命 ・ アメリカ独立革命 ・ フランス革命とナポレオン ・ ウィーン体制 ・ 19 世紀のイギリスとフランス ・ イタリア・ドイツの統一 ・ 東方問題と 19 世紀のロシア ・ アメリカの発展と分裂 ・ 世界市場の形成	a：19 世紀の欧米諸国における国民国家形成に向けた動き，またイギリスの産業革命をきっかけとした 19 世紀の世界経済の変化に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 b：19 世紀の欧米諸国における国民国家形成に向けた動き，またイギリスの産業革命をきっかけとした 19 世紀の世界経済の変化に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現できている。 c：19 世紀の欧米諸国における国民国家形成に向けた動き，またイギリスの産業革命をきっかけとした 19 世紀の世界経済の変化に関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。	・考査 ・小テスト	・考査 ・小テスト ・レポート ・発表	・ワークシート ・レポート ・感想 ・発表

※令和４年度以降入学生用

	アジアの変容と日本の近代化	・ イスラーム世界の改革と再編 ・ 南アジア・東南アジアの改革と再編 ・ アヘン戦争の衝撃 ・ ゆらぐ幕藩体制 ・ 日本の開国 ・ 幕末政局と社会変動 ・ 新政府の成立と諸改革 ・ 富国強兵と文明開化 ・ 近代的な国際関係と国境・領土の画定 ・ 自由民権運動の高まり ・ 立憲国家の成立	a: 19 世紀のアジアや日本に進出した欧米諸国とそれに対するアジア諸国と日本の対応に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 b: 19 世紀のアジアや日本に進出した欧米諸国とそれに対するアジア諸国と日本の対応に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現できている。 c: 19 世紀のアジアや日本に進出した欧米諸国とそれに対するアジア諸国と日本の対応に関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。	・考査 ・小テスト	・考査 ・小テスト ・レポート ・発表	・ワークシート ・レポート ・感想 ・発表

※令和４年度以降入学生用

	帝国主義の時代	・ 帝国主義と世界分割 ・ 帝国主義期の欧米社会 ・ 条約改正 ・ 日清戦争 ・ 日露戦争から韓国併合へ ・ 日本の産業革命と社会問題 ・ アジア諸民族の独立運動・立憲革命	a: 帝国主義の時代における欧米諸国とアジア・アフリカとの関係，またアジア・日本での国民国家形成の動きに関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 b: 帝国主義の時代における欧米諸国とアジア・アフリカとの関係，またアジア・日本での国民国家形成の動きに関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現できている。 C: 帝国主義の時代における欧米諸国とアジア・アフリカとの関係，またアジア・日本での国民国家形成の動きに関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。	・考査 ・小テスト	・考査 ・小テスト ・レポート ・発表	・ワークシート ・レポート ・感想 ・発表

※令和４年度以降入学生用

後期	第一次世界大戦と大衆社会	・ 緊迫する国際関係 ・ 第一次世界大戦 ・ ロシア革命とシベリア出兵 ・ 大戦景気と米騒動 ・ ヴェルサイユ体制とワシントン体制 ・ 西アジア・南アジアの民族運動 ・ 東アジア・東南アジアの民族運動 ・ 戦間期の欧米 ・ ひろがる社会運動と普通選挙の実現 ・ 政党内閣の時代	a: 第一次世界大戦をきっかけとした国際関係の変化，また第一次世界大戦後の世界各国の社会の形成に関する基本的な知識を，複数の史･資料を活用し十分に理解できている。 b: 第一次世界大戦をきっかけとした国際関係の変化，また第一次世界大戦後の世界各国の社会の形成に関する問いに対して，歴史的なものの見方･考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現できている。 c: 第一次世界大戦をきっかけとした国際関係の変化，また第一次世界大戦後の世界各国の社会の形成に関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。	・考査 ・小テスト	・考査 ・小テスト ・レポート ・発表	・ワークシート ・レポート ・感想 ・発表

※令和４年度以降入学生用

	経済危機と第二次世界大戦	・ 世界恐慌 ・ ファシズムの時代 ・ 満洲事変と軍部の台頭 ・ 日中戦争 ・ 第二次世界大戦とアジア太平洋戦争 ・ 戦争と民衆 ・ 日本の敗戦	a: 世界恐慌をきっかけとした世界各国の政治的変化，また第二次世界大戦をきっかけとした国際社会の変化に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 b: 世界恐慌をきっかけとした世界各国の政治的変化，また第二次世界大戦をきっかけとした国際社会の変化に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現できている。 c: 世界恐慌をきっかけとした世界各国の政治的変化，また第二次世界大戦をきっかけとした国際社会の変化に関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。	・考査 ・小テスト	・考査 ・小テスト ・レポート ・発表	・ワークシート ・レポート ・感想 ・発表

※令和４年度以降入学生用

	冷戦と脱植民地化	・ 国際連合と戦後世界 ・ 戦後と占領の始まり ・ 民主化と日本国憲法 ・ 冷戦の開始 ・ 朝鮮戦争と日本 ・ 冷戦対立の推移 ・ 植民地の独立と第三世界の出現 ・ 米ソ両陣営の動揺 ・ 日本の国際社会復帰と高度経済成長	a：冷戦下の世界における国際関係の変化，またアジア・アフリカ諸国や日本の動きに関する基本的な知識を，複数の史･資料を活用し十分に理解できている。 b：冷戦下の世界における国際関係の変化，またアジア・アフリカ諸国や日本の動きに関する問いに対して，歴史的なものの見方･考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現できている。 c：冷戦下の世界における国際関係の変化，またアジア・アフリカ諸国や日本の動きに関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。	・考査 ・小テスト	・考査 ・小テスト ・レポート ・発表	・ワークシート ・レポート ・感想 ・発表

※令和４年度以降入学生用

	多極化する世界	・ 石油危機と世界経済 ・ 緊張緩和から冷戦の終結へ ・ 地域協力の進展 ・ 日本の経済大国化	a：石油危機をきっかけとした世界経済の変化，また1970 年代以降の世界の多極化の動きに関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 b：石油危機をきっかけとした世界経済の変化，また1970 年代以降の世界の多極化の動きに関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現できている。 c：石油危機をきっかけとした世界経済の変化，また1970 年代以降の世界の多極化の動きに関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。	・考査 ・小テスト	・考査 ・小テスト ・レポート ・発表	・ワークシート ・レポート ・感想 ・発表

※令和４年度以降入学生用

	グローバル化と現代世界	・　冷戦体制の終結 ・　地域紛争と世界経済 ・　グローバルな認識へ	a: 冷戦終結後の地域・民族紛争やグローバル化による政治･経済の変化, また現在, 世界が直面している課題に関する基本的な知識を, 複数の史･資料を活用し十分に理解できている。 b: 冷戦終結後の地域・民族紛争やグローバル化による政治･経済の変化, また現在, 世界が直面している課題に関する問いに対して, 歴史的なものの見方･考え方に基づいて思考し, 複数の根拠を基に判断・表現できている。 c: 冷戦終結後の地域・民族紛争やグローバル化による政治･経済の変化, また現在, 世界が直面している課題に関する問いに対して, 粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り, 学習改善しようとしている。	・考査 ・小テスト	・考査 ・小テスト ・レポート ・発表	・ワークシート ・レポート ・感想 ・発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度